



こなちゃん通信 第3号



「港南ひまわりプラン(港南区地域福祉保健計画)」の第5期計画策定に向けた取組や第4期計画の推進に関するさまざまな情報をお届けします。

港南ひまわりプラン推進キャラクター
「こなちゃん」

地域活動を行っている方や商店・企業・福祉事業所、NPO法人、医療関係者など
延べ100名の方をお招きしてグループヒアリングを行いました

第5期計画の策定に向けて、広く多様な立場の区民の方々からご意見を伺うため、第4期計画の中間振り返りの中で課題としてあげられた「3つのテーマ」をもとにグループヒアリングを行いました。



ずばり、テーマはこれ!

第1 テーマ

「困りごとがあっても助けを求められない人の支援」

第2 テーマ

「地域活動と一緒にを行う仲間や、様々な分野で活躍する仲間を増やすための取組」

第3 テーマ

「住民にとって愛着の持てる『ふるさと港南』にするためには」

第1テーマ

困りごとがあっても助けを求められない人の支援

Q1. 助けを求められない人に、どのような困りごとがあるのか、そしてなぜ助けを求められないのか

- ・身近に相談できる人、話を聞いてくれる人がいない
- ・近隣とのつながりがない
- ・どこに相談すればよいのか、どのような支援やサービスを受けられるかわからない
- ・本人が困っているという自覚がない、困っていることを知られたくない
- ・周囲とのコミュニケーションが取れない
- ・支援を受けなくても、人と関わらなくても何とか暮らせていけるので、それ以上を求めない



Q2. そのような人たちの発見や支援について、地域でなにができるか

- ・情報を必要とする人に合わせた、情報が届く仕組みづくり ➡ 情報が多すぎても届かない
- ・情報を届ける場や、誰が届けるかを工夫することで支援につながる
- ・相手に合わせた情報の発信 ➡ 声のかけ方、デジタルとアナログの使い分け
- ・地域で気になること、気になる人を共有できる地域のつながり
- ・人と関わることでできる多様な場をつくる
- ・気がかりな人、困りごとを抱えた人に気づいた人、発見した人がそれを発信する、地域で共有する
- ・地域ケアプラザは、困りごとを発見した人が相談できる場、また、気になる人を地域や支援者とつなぐ役割として活用していく



このテーマで出てきたキーワードは

☀️ 情報

☀️ 発信・共有

☀️ つながり

☀️ 地域ケアプラザ

かな…

ふむふむ



裏面も見てね!



第2テーマ

地域活動と一緒に行動する仲間や、様々な分野で活躍する仲間を増やすための取組

Q1. 地域活動の楽しさや難しさ、その価値についてどう感じているか

- ・活動することによって、様々な世代や分野の人と出会う、そこに対話が生まれる、仲間ができる
- ・子どもたちの笑顔や参加者からの感謝にやりがいを感じて、元気をもらえる
- ・活動を通して多くの情報を得ることができ、地域を知ることができる
- ・活動の楽しさやメリットが伝わらない、人と関わりたいと感じている人が増加している
- ・活動に参加したいと思っても、背中を押してくれる人や、一緒に誘ってくれる人がいない
- ・コロナで、地域のお祭りなどの行事が中止となり、つながりが薄れてしまった



Q2. 地域活動を行う仲間や、様々な分野で活躍する仲間をどのように増やしていくか

- ・子どもを中心としたイベントや、子どもが参加しやすい活動には、自然とその保護者である若い世代も参加して、地域でのつながりのきっかけとなる
- ・活動やイベントに参加することは、新たな出会い、そこで出会った人との関係を大切にしていき、仲間を増やす
- ・活動を全部任せるとはせず、役割を分けて、それぞれができる範囲で手伝えるような仕組みにする
- ・活動へ参加するための背中を押してくれる人、活動しようと思っている人と活動をつなぐ人が必要
- ・子どもと一緒に活動することで、世代間のつながりができる
- ・参加する子どもや、中高生にも役割を持ってもらい、達成感を共有する。褒める



このテーマで出てきたキーワードは

☀️ 子ども ☀️ 役割
☀️ 出会い ☀️ つなぐ かな…

第3テーマ

住民にとって愛着のある「ふるさと港南」にするためには



Q1. 港南区の魅力といえば

- ・子どもの見守りが活発だったり住民や商店とのつながりがある
- ・地域や自分の住む町に愛着を持つ住民が多く、住民が参加できるイベント、活動が多い。
- ・自然が豊かであり、また生活の利便性も良いという「ちょっと田舎で、ちょっと都会」



Q2. 「ふるさと」と感じる地域とは

- ・子どもの頃に過ごした場所、思い出に残る物、出会った人、体験、通っていた学校
- ・時間が経っても変わらない風景や行事、馴染みのお店



Q3. 「ふるさと港南」にするためにはどんな取り組みが必要か

- ・子どもたちが地域で様々な体験をする場と機会を作る
- ・伝統行事や地域活動を若い世代、子どもたちと一緒に体験する
- ・地域の良いところ、魅力、伝統を次世代に伝えていく
- ・活動や取り組みが継続できるように守っていく
- ・地域の成り立ちや、地域にまつわる歴史、そして地域での活動やそこに関わる人を知ること
- ・いろいろな人と対話する機会を設けて、お互いを知り合うこと
- ・住民同士、いろいろな人と出会う場や出会う機会を増やし、知り合い、仲間となること

このテーマで出てきたキーワードは

☀️ 知る ☀️ 体験
☀️ 出会い ☀️ 伝え、守る かな…



次号予告

11/6(水)の午後に「第2回 地域福祉保健推進協議会」が開催されました! その様子は次号でお知らせします。

ありがとう

皆さんからいただいたご意見やキーワード等を踏まえ、第5期計画の策定を進めていきます!

港南
ひまわりプラン
詳しくはこちら!



発行: 港南区福祉保健課事業企画担当
〒233-0003 横浜市港南区港南4-2-10
電話: 045-847-8441 / FAX: 045-846-5981